

はなみずき



学校だより
鶴岡市立朝陽第四小学校
令和6年6月25日

5・6月のスタッフ



おおぜいの市民の前で堂々と披露
四小伝統の「暁薫らん」
天神祭りをおおいに盛り上げました



←5年 自然教室
野外炊飯 上手にできるかな



↑1年 校外学習(給食センター)
「大きなおなべ!」

「体験活動」のススメ (何で「体験活動」って大切なの?)

5月下旬から6月にかけて、天神祭りパレードでの「暁薫らん」、金峰自然教室、校外学習、陸上大会など、たくさんの体験活動が行われました。また、6月28日から29日にかけて、6年生が修学旅行に行ってきます。体験活動を通し、生き生きとした子どもたちの姿を見ることができるのは嬉しいことです。

なんとなく直感的に、イメージで、「体験活動は楽しいし大事だ」と思っていました。この「体験活動」が子どもたちの成長にもたらす影響が正式に証明されているので、触れてみたいと思います。

文部科学省が公表した、「21世紀出生児縦断調査」の中で、子どもたちにとって、体験活動がなぜ大切なのかが、触れられています。(インターネットで検索できます。とっても興味深い内容です)

これは、文部科学省が、2001年出生の子の追跡調査をし、過去の経験や環境要因がその後の状況や意識にどのように影響するかを分析したものです。その調査分析で、高校生の年代になった時、小学校時代の文化・自然体験活動の経験が、非認知能力を高めていることが確認されました。例えば、

- ・「自尊感情」が高まり、物事を人並みに上手くやれるという感情が育つ
- ・「精神的回復力」が高まり、チャレンジするのが好きな子どもに育つ
- ・「我慢強さ」がつき、困難があってもやる気を失わない子になっていく
- ・明るく楽しい気持ちで過ごし、「精神的に健康な状態」になる

そして、学校適応は、両親が学校行事やボランティア活動に参加していた人、異年齢の遊び友達がいいた人に好結果がでたのだそうです。勉強が楽しい。先生に会うことが楽しいと感じながら学校生活を送れているということでした。(PTA活動や地域行事への関わりも大切ですね)

あくまでも傾向であり、全員があてはまるものではありませんが、そのような傾向につながっていくということが、調査結果からでました。文化、自然体験活動、させてあげたいですね。

「四四連携」(鶴岡型小中一貫教育)を推進していきます

小学校と中学校を合わせた9年間を通して、子どもたちの成長を支えていきます。四中との連携を更に深め、「つきたい力」を明確にし、「連続した9年間の学びによる学力の向上」「豊かな人間性・社会性の育成」「心身の健康の増進」「ふるさとを愛し、誇りに思う心の育成」をめざしていきます。

この「四四連携」(鶴岡型小中一貫教育)については、PTAや学校運営協議会、学校だより等で話題にし、お伝えしながら推進していきたいと考えています。